

| | | | |
|-----|--------------------|---------------|--------|
| 事業名 | やまなし農業ルネサンス総合支援事業費 | 財務コード (事業) | 800201 |
|-----|--------------------|---------------|--------|

| | |
|------|----|
| 調書番号 | 25 |
|------|----|

| | |
|------|-----------------------|
| 細事業名 | やまなし農業ルネサンス総合支援事業費補助金 |
|------|-----------------------|

| | | |
|-------|--------------------------|------|
| 担当部課室 | 農政 部 農村振興 課 農村整備 担当 (内線) | 5157 |
|-------|--------------------------|------|

I 事業の概要

| | | | | |
|--------------------------|--|---------------------------|--|---------------------------|
| 実施期間 | 始期 20 年度 ~ 終期 26 年度 | | | |
| 実施主体 | 補助(市町村、農協、営農集団、農業生産法人 等) | | | |
| 事業の目的 | <table border="1"> <tr> <td>誰(何)を対象に 農業者等(新規就農者含)</td> <td>その対象をどのような状態にして 農産物の販路の拡大と生産性を向上 することができる。</td> <td>結果、何に結びつけるのか 農業・農村の活性化</td> </tr> </table> | 誰(何)を対象に 農業者等(新規就農者含) | その対象をどのような状態にして 農産物の販路の拡大と生産性を向上 することができる。 | 結果、何に結びつけるのか 農業・農村の活性化 |
| 誰(何)を対象に 農業者等(新規就農者含) | その対象をどのような状態にして 農産物の販路の拡大と生産性を向上 することができる。 | 結果、何に結びつけるのか 農業・農村の活性化 | | |
| 事業の内容 ※主に 23年度 | <p>○事業概要 やまなし農業ルネサンス大綱の実現に向け、販路の拡大や強い産地づくり等に必要な施設・機械等、新たな担 い手の確保・育成につながる施設・設備等、国庫補助の規模・要件を満たさない整備に対し助成する。</p> <p>○補助先:市町村</p> <p>○補助率:1/2以内</p> <p>○事業実施主体 市町村、農業協同組合、営農集団、農業生産法人、農業参入企業、NPO法人(起業地における事業承認を得 た法人に限る)等</p> <p>○補助対象事業(メニュー):H23年度実績(件数、補助金額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大支援:8件、15,312千円 ・産地強化支援:14件、29,152千円 ・高品質化支援:0件 ・省エネルギー・環境保全対策支援:1件、526千円 | | | |
| 根拠法令等 | やまなし農業ルネサンス総合支援事業費補助金交付要綱 やまなし農業ルネサンス総合支援事業実施要領 | | | |

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

| 事業の実施状況と 目標の実現度 | 22年度 | | 23年度 | | 24年度 | 25年度 | 事業目標の考え方 |
|--------------------------------|----------------------|----------|----------|----------|----------|---|---|
| | 実績値 | 目標値 | 実績値 | 見込値 | 目標値 | | |
| 活動 指標 | 補助対象件数 | 15件 | 15件 | 23件 | 15件 | 15件 | 目標設定の考え方 事業費12,000千円タイプ×5カ所、3,000 千円タイプ×6カ所、500千円タイプ×4カ 所という、整備内容毎の想定目標がある ため。 データの出典等 予算見積書 |
| | 活動指標達成率 (実績値/目標値) | 153.3 % | | | | | |
| 成果 指標 | 農産物直売所の販 売額(県内全域) | 4,852百万円 | 5,264百万円 | 4,972百万円 | 5,676百万円 | 6,088百万円 | 目標設定の考え方 やまなし農業ルネサンス大綱にある農産 物直売所の販売額の数値目標(H26年 度:6,500百万円)から、年毎の目標値を 算出し設定。 データの出典等 ・やまなし農業ルネサンス大綱 ・予算見積書 ・農産物直売所実態調査 |
| | 成果指標達成率 (実績値/目標値) | 94.5 % | | | | | |
| 決算額、予算額 | 40,000 | | 44,990 | 40,000 | 32,000 | 成果指標によらない成果 | |
| (千円) うち一財額 | 40,000 | | 44,990 | 40,000 | 32,000 | 販路拡大支援により、8件中4件が直売 施設の増設や自動販売機の設置を行 い、農産物の売り場面積を拡大してい る。 また、販路拡大による農産物の販売額 増加により、担い手が参入しやすい状 況を作ることで、担い手の増加に寄与し ている。 | |
| 所要時間(直接分) | 453 時間 | | 453 時間 | 453 時間 | 453 時間 | | |
| 所要時間(間接分) | 時間 | | 時間 | 時間 | 時間 | | |
| 所要時間計 | 453 時間 | | 453 時間 | 453 時間 | 453 時間 | | |
| 人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間) | 916 | | 916 | 916 | 916 | | |

III これまでの事業の見直し・改善状況

平成23年度に実施要領等を改正し、「省エネルギー・環境保全対策支援」の中の補助対象経費に「節電対策支援」を追加し、節電への取り組みに対する支援を可能とした。

IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)

| | | |
|--|------------|---|
| (1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断) | | |
| 数値判定 | 活動量に係る一次評価 | 活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること |
| H23年度活動指標達成率 | | 補助対象件数の達成率は153.3%であるが、大規模な施設等の整備が想定していた件数よりも少なかったことにより、一件当たりの補助金額が小さくなり補助対象件数が増加したと考えられるため、予定どおりの活動量であると判断する。 |
| a | b | |

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

| | | |
|---|-----------|--|
| (2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断) | | |
| 数値判定 | 成果に係る一次評価 | 成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること |
| H23年度成果指標達成率 | | 販路を拡大することと生産性を向上することは、農産物の販売額増加に大きく関係していると思われ、当補助事業の目的において成果が計れるのは農産物直売所の販売額であると判断されるため、成果指標に設定した。農産物直売所の販売額(県内全域)の達成率は94.5%であるが、震災の影響による農産物価格の低迷や観光客の減少にも関わらず、H22年度の実績値より増加している。また、やまなし農業ルネサンス総合支援事業における販路拡大支援に係る補助件数は8件で、このうち4件が農産物の直売に係る事業であり、直売施設の新設や増設、自動販売機の設置により売り場面積を拡大しており、販路の拡大に寄与しているため、意図した成果はほぼ上げていると判断される。 |
| b | b | |

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)

| | | |
|---------------|--|-----------|
| 一次評価(担当部評価結果) | | |
| 見直しの必要性 | 説明 | IV以外の判断項目 |
| 有 | 当補助事業は、国補事業の規模・要件を満たさない施設・機械等の整備について支援を行うものであり、小規模な営農集団等が先進的な取り組みを行う等の、国補事業では対応しきれないものへの支援策として、引き続き事業を実施していく必要がある。H23年度に節電対策に対する支援項目を追加し、農業者等の要望に合った支援ができるよう見直しを行っている。近年は、新規参入者が増えていることから、資金力の乏しい初期段階から支援できるような事業を検討するなど、常に農業者等の要望に耳を傾け、新たなニーズに合ったメニューを見直ししていく必要がある。 | d |

・「IV以外の判断項目」の欄

○必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) ○官or民(f.民間等実施) ○官の役割分担(g.市町村等へ移管) ○効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

| | | |
|--|---|-----------|
| 二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価 | | |
| 見直しの必要性 | 説明 | IV以外の判断項目 |
| 有 | 資金力の乏しい新たな担い手や周辺の就農者への支援の必要性から、新規就農者等に対し、就農の初期段階から支援できるような事業を検討し、メニューの見直しをおこなっていく。当事業は、本県農政の農業振興の基本指針である「やまなし農業ルネサンス大綱」を引用した事業名となっているが、一般の方にはわかりづらいとの意見が寄せられている。そこで、事業名の変更については、サブタイトルを付けるなどの対応により、わかりやすくする工夫をおこなう。 | d |

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)

| | |
|--------|---|
| 見直しの方向 | 具体的な実施計画等 |
| 拡大 | ・事業メニューに「新規就農者支援」タイプを新設し、新規就農者と指導農業者等が組織する集団に対し、農業を開始する際に必要となる農業用機械の整備について支援する。 ・一般県民に事業内容をわかりやすく表現するため、通称(サブタイトル)を導入する。 |

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。

自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料【様式2】

所属名: 農村振興課

細事業名: やまなし農業ルネサンス総合支援事業費補助金 調書番号: 25

| 事業の内容を 細分化した 業務名 | 具体的な業務 プロセス(手順) | 業務の 時期 (フロー) | H23 所要 時間 (h) | H24 所要 時間 (h) A | H25 所要 時間 (h) B | 縮減等 B-A | 具体的な業務の見 直しの内容 | 見直しに至った理由等 (または見直しなしの理由等) |
|---|--------------------|--------------------|------------------------|--------------------------|--------------------------|------------|-------------------|---|
| 1 やまなし農業 ルネサンス総 合支援事業実 施要望につい ての農務事務 所とのヒアリン グ | 実施要望とりまとめ | 3月～4月 | 30 | 30 | 30 | 0 | なし | 実施要望に基づき調整を行う ための実務であり、適正な時 間で処理しているため。 |
| | ヒアリング日程調整 | 4月 | 3 | 3 | 3 | 0 | なし | |
| | ヒアリングの実施 | 4月 | 50 | 50 | 50 | 0 | なし | |
| | 実施事業担当案 作成 | 4月 | 50 | 50 | 50 | 0 | なし | |
| (小計) | | | 133 | 133 | 133 | 0 | | |
| 2 やまなし農業 ルネサンス総 合支援事業費 の予算の令達 | 実施事業担当案 課内説明・調整 | 随時 | 100 | 100 | 100 | 0 | なし | 実施要望に基づき調整を行う ための実務であり、適正な時 間で処理しているため。 |
| | 実施事業案 部内説明・調整 | 随時 | 100 | 100 | 100 | 0 | なし | |
| | 予算の令達 | 随時 | 60 | 60 | 60 | 0 | なし | |
| (小計) | | | 260 | 260 | 260 | 0 | | |
| 3 やまなし農業 ルネサンス総 合支援事業達 成状況報告書 の取りまとめ | 報告書の收受及 び内容確認 | 6月～7月 | 25 | 25 | 25 | 0 | なし | 事業の件数により所要時間 の増減があるが、事業の実 施状況を確認する作業であ り、適正な時間で処理してい るため。 |
| | 確認事項につい て照会 | 6月～7月 | 25 | 25 | 25 | 0 | なし | |
| | 回答内容の確認 | 7月～8月 | 9 | 9 | 9 | 0 | なし | |
| | 報告書の回覧 | 9月 | 1 | 1 | 1 | 0 | なし | |
| (小計) | | | 60 | 60 | 60 | 0 | | |
| 所要時間 (計) | | | 453 | 453 | 453 | 0 | | |

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートのⅡ事業の目標、実施状況等の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的な業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見ても分かりやすい表現とすること。)なお、見直しが無い場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせ、行を加除して記載すること。(複数ページ可)